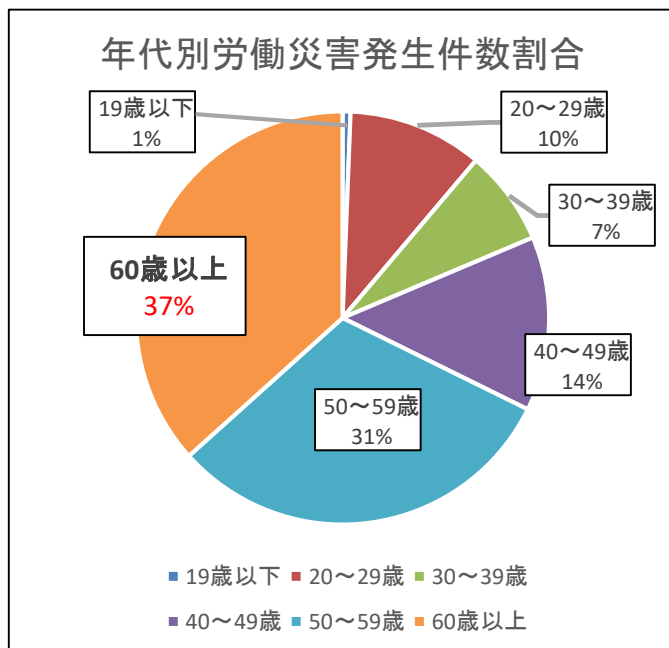
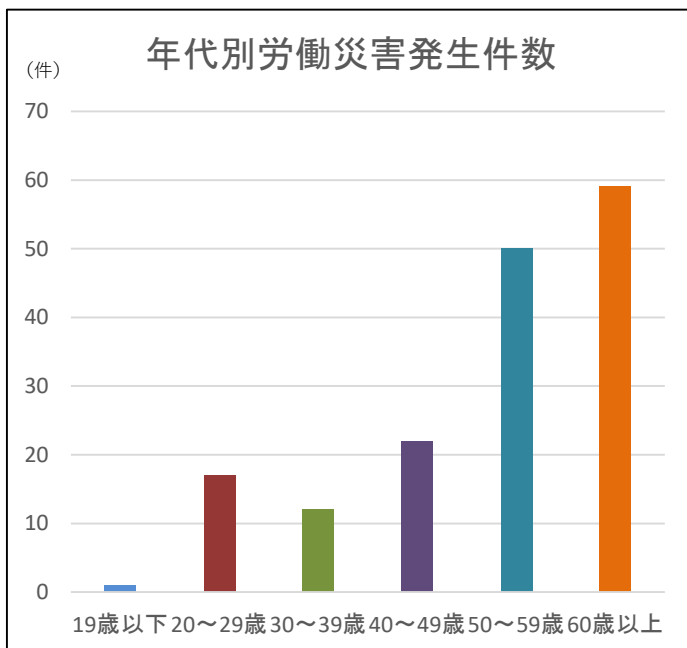


エイジフレンドリーな職場づくりを進めましょう！

皆さんの職場は、高齢者が安心して働ける環境になっていませんか？
エイジフレンドリーとは、「**高齢者の特性を考慮した**」を意味する言葉です。

滝川労働基準監督署管内において、令和2年に発生した労働災害による被災者の**約37%**は、**60歳以上**の労働者でした。



働く高齢者が増加する中、労働災害が続けば人手不足を招くおそれもあります。



高齢者が安心・安全に働くことのできる職場づくりを行えるよう、**エイジフレンドリーガイドライン**（高年齢労働者の安全と健康を確保するためのガイドライン）が策定されました。

ガイドライン全文は、こちらをご覧ください。→

令和2年3月16日付け基安発0316第1号「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドラインの策定について」



ガイドラインのポイント

○事業者求められる事項

高齢労働者の就労状況や業務内容の実情に応じて、実施可能な対策に取り組むこと。

①安全衛生管理体制の確立等

経営トップが安全衛生方針を表明、担当する組織等を指定するとともに、リスクアセスメントを実施

職場改善ツール「エイジアクション100」のチェックリストもご活用いただけます。→



②職場環境の改善

身体機能の低下を補う設備等の導入（ハード面）、特性を考慮した作業管理（ソフト面）などの対策を実施

③高齢労働者の健康や体力の状況の把握

健康診断、体力チェックなどの実施

④高齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応

健康診断や体力チェックにて把握した健康や体力の状況に応じて適合する業務を提供しつつ、身体機能の維持向上に取り組む

⑤安全衛生教育

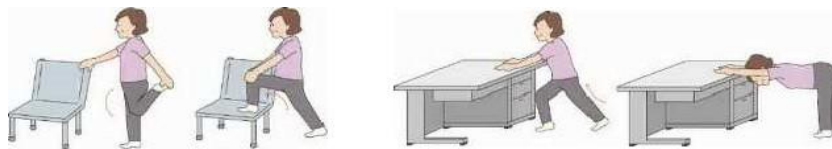
写真や図、映像等の情報も活用した教育の実施

○労働者に求められる事項

事業者が実施する労災防止対策の取組に協力するとともに、自己の健康を守るための努力の重要性を理解し、自らの健康づくりに積極的に取り組むよう努めること。

参考：ストレッチの例

「介護業務で働く人のための腰痛予防のポイントとエクササイズ」より



あんぜんプロジェクト

あんぜんプロジェクトは、労働災害のない日本を目指して働く方の安全に一生懸命に取り組む「働く人」、「企業」、「家族」が元気になる職場を創るプロジェクトです！

STOP! 熱中症 令和3年5月～9月

クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約1,000人が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう！

お問い合わせは当署安全衛生課（0125-24-7361）まで、お気軽にどうぞ！